

# 落とし所は いつだって エッジの 1ヤード先と決める!

どこにボールを落下させればいいのか悩むと、スイング自体に迷いが生じ、ミスが起こりやすい。そんな人は常にエッジの1ヤード先と決めよう。そうすれば使うクラブも自然に決まり、普段どおりのスイングができるはず!

みっちりアプローチの練習だ!

手嶋多一



ヘッドを少し浮かしたまま構えると、クラブの重さが感じられ、スムーズに振れる。

7番、9番、SWの3本を使って、同じ所に落とす練習をしよう!

クラブ選択に迷わず 普段どおりに振れる  
ボクはどんな場合も、ボールの落とし所はエッジから1ヤード先と決めていきます。グリーン上に落とせば、ボールのコロがりが計算しやすいからです。あとはエッジからピンまでの距離

で、自然と使うクラブも決まってくる。ピンが近いなら、キヤリーが多くランが少ないSWなどが適切だし、ピンが奥なら、ランが多い7番アイアンがいい。落とし所を同じにすれば、クラブの番手選択に迷うこともなくなり、スイングで特別なことをする必要がなくなります。

↑ 1ヤード

**ココに落とす!**  
ランがどれくらい出せるかで、クラブ選択は必然的に決まるので、スイングに迷いがなくなる!

ヘッドをソールせず バックスイングする  
アプローチでトップしたりダフったりするのは、手元に余分な力が入っているから。こんな時は、アドレスでヘッドを少し

浮かしたまま構えて、そのままバックスイングしてください。浮かすことでヘッドの重さが手元に感じられ、適度な力で握ることができま。どんなクラブを使っても、力まず緩まず打てるようになりますよ。

[指導] 手嶋多一  
てしま・たいち / '68年10月16日生まれ。福岡県出身。ツアー6勝。粘り強いプレーが持ち味。'09年は中日クラウンズ3位タイなど